

木崎地域の課題と対策案

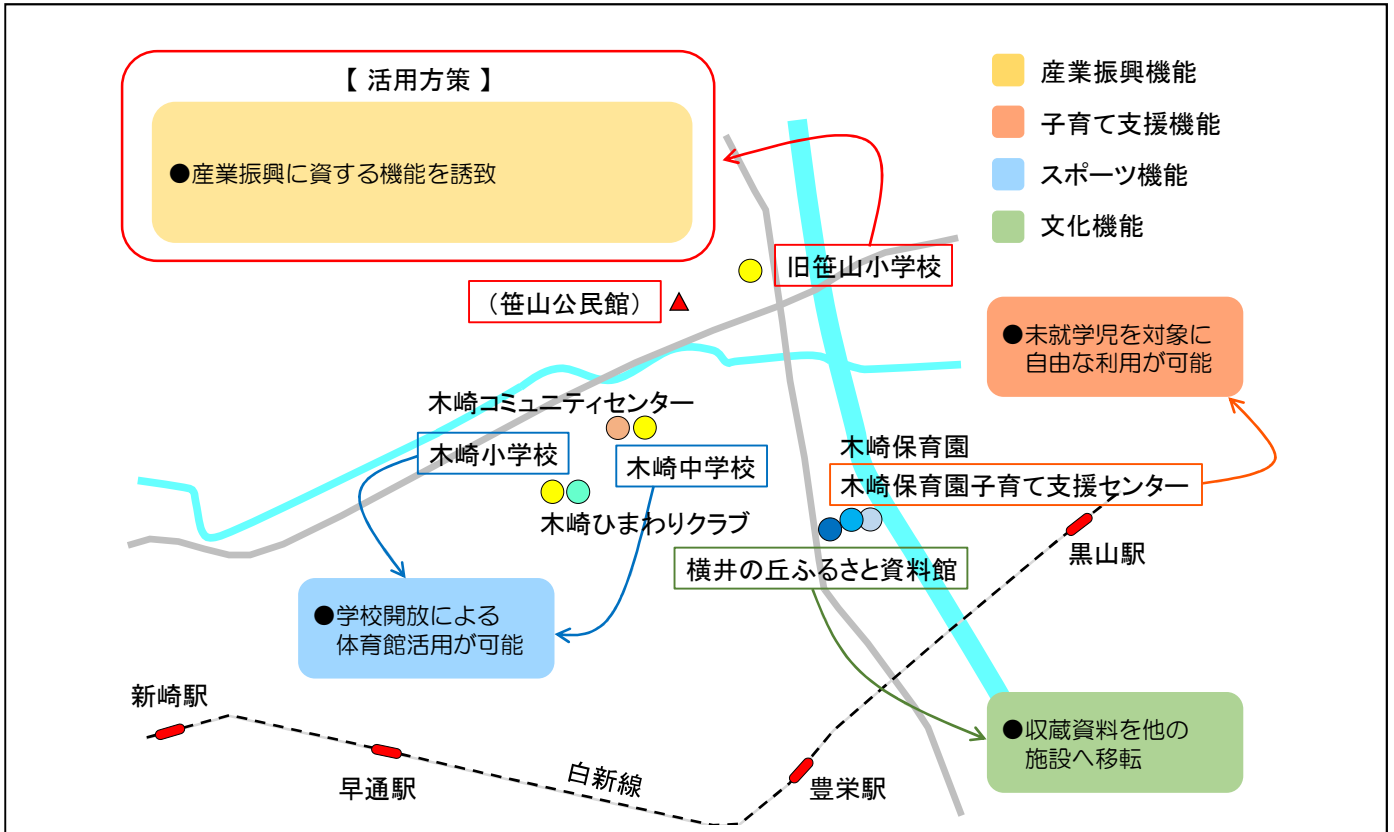
第1回のワークショップでは、笹山小学校の跡地の活用について多くのご意見をいただきました。地域の関心が高く、笹山小学校の跡地活用いかんによって、木崎地域の全体の公共施設を取り巻く課題に大きく影響が生じるものと認識し、以下のように整理しました。

視点	笹山小学校の跡地活用についてのワークショップ意見
民間活力による 木崎地域の活性化	● 交通の便などの 立地条件もいい ので、 公募などを行い民間で活用 してはどうか。
	● 企業から応募があった際には、 地域のイメージを壊さないように配慮 をし、地域の意見を要望することも必要があると思う。
	● 東港との物流拠点 になり得る場所に立地しており工業団地もあるので、 植物工場やイベント会場 などとして活用できるのではないかと。
	● 体育館と校舎を別々の所に貸し出し たり、 シェアオフィスやチャレンジショップ などの多目的スペースとして活用すれば、 企業の事業所、地域特産物加工場、子どものための施設 などに活用でき、 選択肢が広がる のではないかと。
安全性の確保	● 今後も 避難所機能を維持 することを最優先に考えた方がよい。
	● 市で確保している 避難所の収容人数 では災害時に足りなくなるのではないかと。
スポーツの場、 健康増進を目的 とした場の確保	● 学校の教室を利用して、講座や卓球などの軽いスポーツができ、 高齢者が気軽に立ち寄れる場所 が作れるとよい。
	● スポーツ団体が活動場所を確保するのが難しくなっているので、今後も 体育館をスポーツに利用 できるとよい。
教育機能の維持	● 商業施設と教育施設を複合 したり、専門学校を誘致したりして、今後も 教育の場 として使っていけるとよい。
子どもの遊び場の確保	● 放課後に小学生が過ごせる場所や小学生と幼児と一緒に連れて行ける遊び場が地域にないので、安心して 自由に体を動かせる場所 ができるとよい。

あわせて、木崎地域全体の課題についてのご意見は以下のように整理しました。

視点	木崎地域全体についてのワークショップ意見
木崎地域の活性化	● 市街化調整区域が多く、他地域から移り住みたくても家を建てられないことがある。地域外の人を広く受け入れられるようになるとよい。
	● 農地が多いのがこの地域のメリットなので、バイパスや港に近いという交通の便の良さを活かした民間活用により、農地が活用できるとよい。
交通利便性の確保	● 地域内には人口が少なくインフラ整備が整っていない地区や近隣に店舗がなく買い物に不自由である。
	● 市内中心部との間のバスが少なく駅も遠いため、車の運転ができない人は移動が難しい。
コスト縮減	● 今後人口が減少して少子高齢化が進むと共に、公共施設も老朽化していく。不採算の施設は整理していく必要がある。

A案：立地条件を活かした企業誘致



【特徴】

<笹山小学校跡地>

- 東港物流団地、東港工業団地と近接しており、地の利を活かした企業誘致をする。
- 地域経済の貢献、雇用の拡大が期待できる。
- 既存建物を活かした事業提案を想定。
- 市街化調整区域であり、土地利用が制限される。
- 避難所機能確保の条件を付して民間が活用することは可能だが、提案の自由度が下がる可能性がある。
- 跡地の民間活用は案であり、実現性を担保できない。

<横井の丘ふるさと資料館>

- 収蔵資料を他の施設などに移転し、施設の廃止後、将来的に解体する。

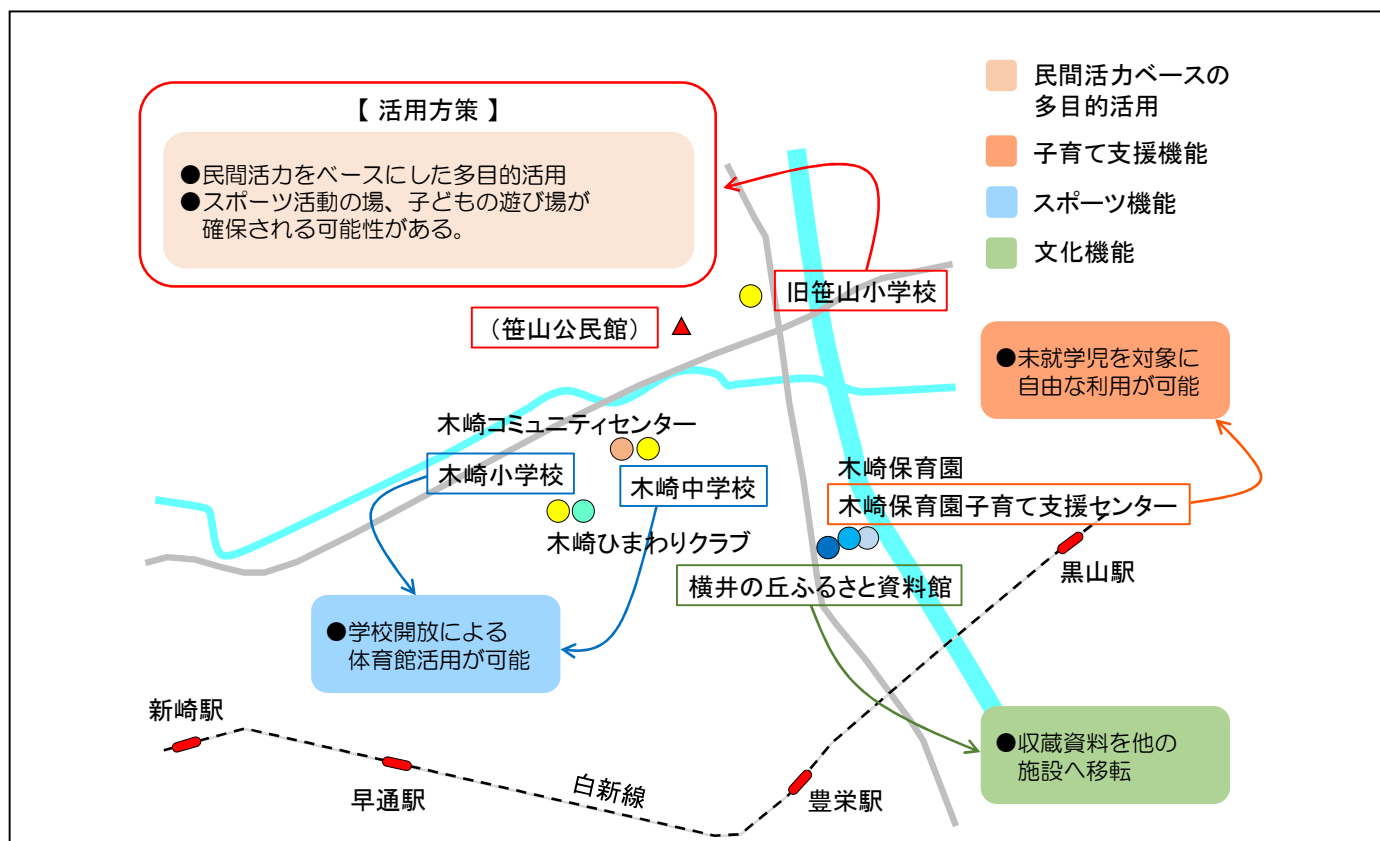
<旧木崎ひまわりクラブ>

- 木崎小学校敷地内に令和元年度にひまわりクラブが新築され、移転が完了しているので、旧クラブは将来的に解体する。

<地域内その他の施設>

- 配置方針に照らし合わせ、適正な配置であることから、今後も適切に維持する。
- 令和2年4月1日付で笹山公民館を新たに指定避難所とした。

B案：民間活力をベースにした多目的活用



【特徴】

< 笹山小学校跡地 >

- 体育館と校舎を別々の事業者へ貸し出し、シェアオフィスやチャレンジショップなどの多目的スペースとして活用する。
- 既存建物を活かした事業提案を想定。
- 市街化調整区域であり、土地利用が制限される。
- 避難所機能確保の条件を付して民間が活用することは可能だが、提案の自由度が下がる可能性がある。
- 事業者の提案内容によっては、軽運動やスポーツの場、教育機能の場、子どもの遊び場として活用される可能性がある。
- 跡地の民間活用は案であり、実現性を担保できない。

< 横井の丘ふるさと資料館 >

- 収蔵資料を他の施設などに移転し、施設の廃止後、将来的に解体する。

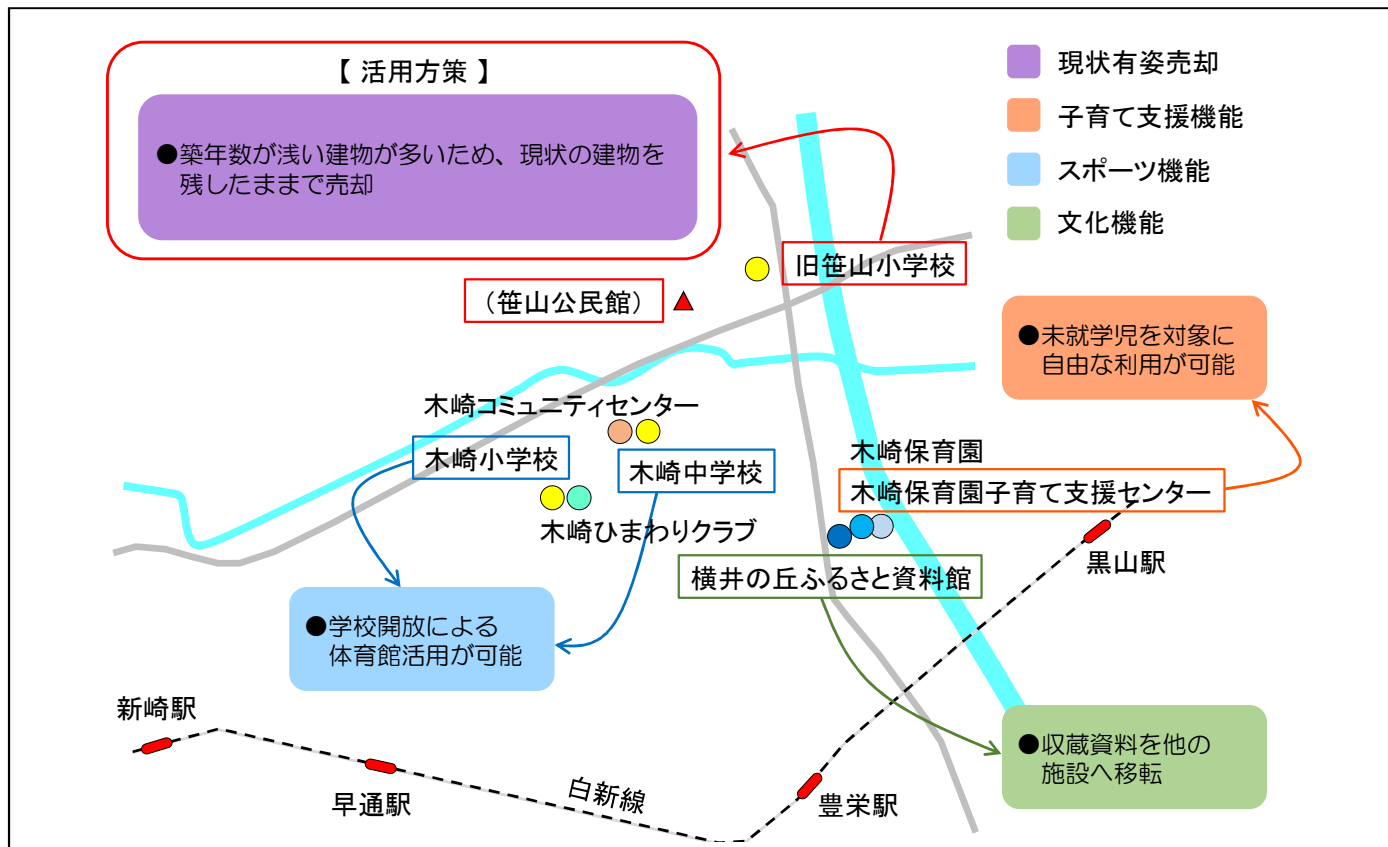
< 旧木崎ひまわりクラブ >

- 木崎小学校敷地内に令和元年度にひまわりクラブが新築され、移転が完了しているため、旧クラブは将来的に解体する。

< 地域内その他の施設 >

- 配置方針に照らし合わせ、適正な配置であることから、今後も適切に維持する。
- 令和2年4月1日付で笹山公民館を新たに指定避難所とした。

評価の基準案：現状有姿での売却



【特徴】

<笹山小学校跡地>

- 笹山小学校は築年数が浅い建物が多いため、取り壊さずに現状の建物を残したまま利用条件を付けずに売却することで有効活用を図ることができる。
- 利用条件を付けずに売却するので、A案やB案と比較し、早期に民間による活用を開始できる可能性が高い。
- 市街化調整区域であり、土地利用が制限される。
- 避難所機能確保の条件を付して民間に売却することは可能だが、民間の事業内容によっては制約と捉えられ、購入意欲が低下する可能性もある。

<横井の丘ふるさと資料館>

- 収集資料を他の施設などに移転し、施設の廃止後、将来的に解体する。

<旧木崎ひまわりクラブ>

- 木崎小学校敷地内に令和元年度にひまわりクラブが新築され、移転が完了しているので、旧クラブは将来的に解体する。

<地域内その他の施設>

- 配置方針に照らし合わせ、適正な配置であることから、今後も適切に維持する。
- 令和2年4月1日付で笹山公民館を新たに指定避難所とした。